

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主名簿管理人及び  
特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

|           | 証券会社に口座をお持ちの場合                                                    | 特 別 口 座 の 場 合                                                           |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 郵便物送付先    | お取引の証券会社等にお問い合わせください。                                             | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4                                                 |
| 電話お問い合わせ先 |                                                                   | <b>0120-288-324</b> （フリーダイヤル）                                           |
| お 取 扱 店   |                                                                   | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部                                                       |
| ご 注 意     | 未払配当金の支払、支払明細等の発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。 | 単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。<br>電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

公 告 方 法 当社のホームページ( <http://www.dainichi-net.co.jp/> )に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単 元 株 式 数 100株



ホームページのご案内

当社ホームページでは、「製品情報」や「お客様サポート・お問い合わせ」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「会社情報」内の「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表等各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

**DAINICHI**



第49期 中間報告書  
(第2四半期)

平成23年4月1日～平成23年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第49期第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

第49期におきましては、売上高200億円、営業利益20億円、経常利益20億円、当期純利益12億円を見込んでおり、目標の達成に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



代表取締役会長  
佐々本文雄



代表取締役社長  
吉井久夫

## 当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響等により企業収益は悪化し消費動向は一時の自粛ムードから弱含みとなったものの、個人消費は緩やかな回復傾向が続いておりました。

また、生産はサプライチェーンの立て直しにより持ち直し、設備投資は下げ止まりつつある状況にありました。しかしながら、長引く円高や欧州での金融不安などにより、今後の景気動向は依然として不透明な状況にあります。

こうしたなかにあって当社は、他社に先行した商品とサービスを提供することで経営体質の改善を続けてまいりました。また、商品の安全性と信頼性を重視し、重大製品事故を未然に防止する体制の維持に努めてまいりました。

主力商品であります石油暖房機器におきましては、販売チャネルに適した商品ラインナップの展開をはかり販売拡大に努めました。また、冬の節電商品として採り上げられたことで販売が好調に推移いたしました。

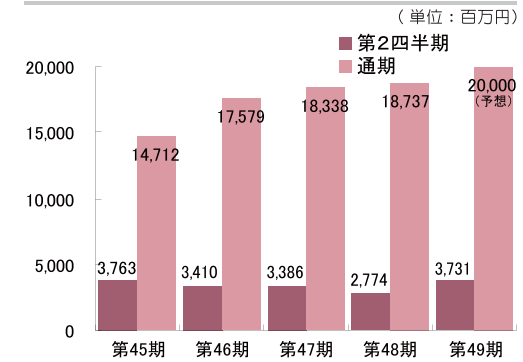
加湿器におきましては、従来のハイブリッド式のほかに省電力に優れた気化式の加湿器も商品ラインナップに加え、積極的な販売活動を展開いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は37億31百万円(前年同期比34.5%増)、営業損失は2億3百万円(前年同期比1億52百万円減)、経常損失は88百万円(前年同期比1億85百万円減)、四半期純損失は86百万円(前年同期比1億2百万円減)となりました。

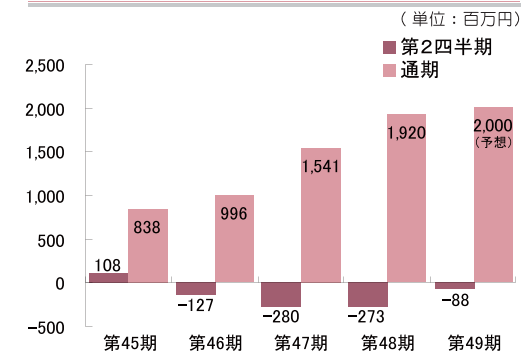
なお、当社は石油暖房機器が主力であるため、売上は第3四半期会計期間に集中する傾向があり、当第2四半期累計期間は売上に連動しない定常的経費である販売費及び一般管理費の計上により損失が発生いたします。

## 財務ハイライト

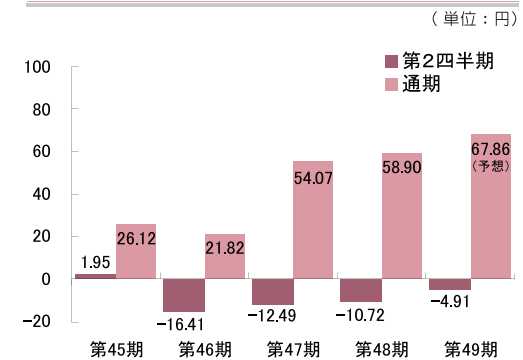
### 売上高



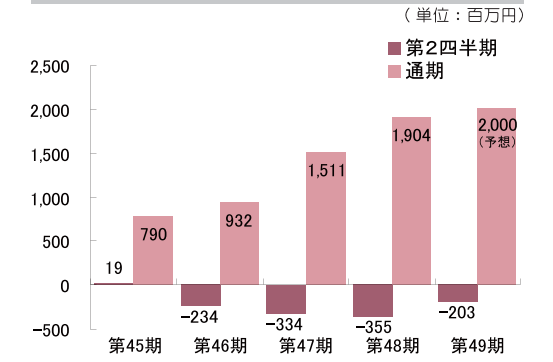
### 経常利益



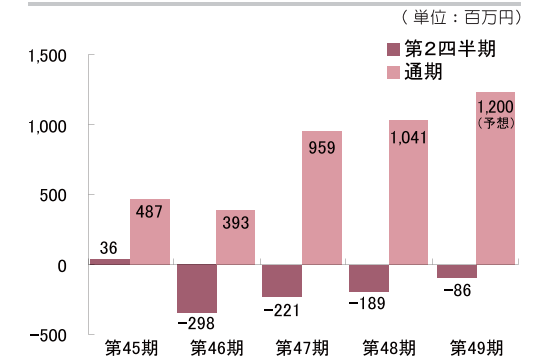
### 1株当たり四半期(当期)純利益



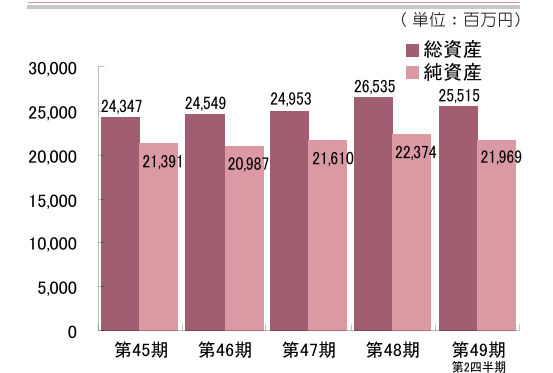
### 営業利益



### 四半期(当期)純利益



### 総資産 / 純資産





## いよいよ暖房シーズン

この冬に向けての期待が高まっています。

夏に続きこの冬も節電が叫ばれるなか、石油、ガス暖房への注目が高まっています。

石油ファンヒーターは灯油の気化や安全装置の制御などに電気を使うものの、その熱源の中心は灯油であることから、エアコンを中心とした電気暖房に比べて、暖房時の消費電力を抑えることができます。

灯油の手配や給油の手間などの煩わしさはありますが、電気暖房にはないメリットが根強い支持を得ています。

### お部屋を素早く暖める

当社の石油ファンヒーターはスイッチを入れてから着火まで 40 秒（一部機種は 45 秒）。その後すぐに最大火力になり、お部屋をどんどん暖めていきます。朝の忙しい時間、早くお部屋を快適温度にしたい時に頼りになります。

### 足元から暖める

暖まった空気は上に昇っていきます。天井近くから温風を吹き下ろすエアコンに比べ、足元から温風を出す石油ファンヒーターはお部屋全体の温度ムラを少なくするためには有利です。

### お部屋が乾燥しにくい

石油やガスを燃やすと燃料に含まれる水素が水蒸気になり、お部屋を加湿します。人は湿度が高い方が暖かさを感じるため、石油ファンヒーターをお使いの部屋では電気暖房を使った場合に比べ、室内の温度がやや低くても暖かく過ごせ、灯油や電気の節約になります。

これらは、石油ファンヒーターを日常お使いになっている方は実感されていることと思います。これからも石油ファンヒーターは全国で愛され続けることでしょう。



FX-52R2

これまでの暖房機にはないスタイリッシュなデザインで高い評価をいただいている FX タイプ。



FW-327NE

FW-577LX

個室や寝室から家族が集まるワイドなリビングまで、幅広い暖房能力から選べる豊富なラインナップが魅力。

## 国内生産による品質の高さと安定供給が評価されています。

石油暖房機器同様、加湿器も冬場に売れる商品です。暖房を入れるとお部屋は乾燥しがちになりますから、特にエアコン暖房などが中心のお部屋では加湿器によってうるおいを保つことが大切になってきます。

当社の加湿器は運転音の静かさが自慢。日中だけでなく就寝時も使うことが多いことから、静かさはお客様にとって重要な選択項目になっています。

また、柔軟な供給体制もお取引先様から評価を受けています。国内で販売される多くの加湿器が海外生産という現状のなか、ここ新潟で作ることは急な需要の変化にも応えやすく、いつでも必要な製品をお届けできるメリットが喜ばれています。

これからも国内生産による高い品質と性能、そして安定した供給体制で、お客様のご要望に応じていきます。



## 家庭用燃料電池システムの出荷が始まりました。

J×日鉱日石エネルギー株式会社からの生産を受託した「家庭用固体酸化物形燃料電池システム（家庭用 S O F C システム）」の出荷が、予定どおり 10 月より開始されています。

家庭用 S O F C システムは従来の家庭用 P E F C システム（家庭用固体高分子形燃料電池システム）に比べて発電効率が高く、エネルギーの有効活用と家庭における C O<sub>2</sub> 排出量の削減にもつながるとして期待されている次世代の燃料電池システムです。



第3工場

家庭用燃料電池システムの開発部門、生産ライン

第2工場

研究開発・営業・事務部門、製品倉庫

第1工場

部品加工、プレス、塗装、製品組立まで、暖房機器、加湿器の生産ライン

▲本社全景（新潟市）

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円/千円未満切捨)

| 科 目        | 当第2四半期会計期間<br>(平成23年9月30日現在) | 前第2四半期会計期間<br>(平成22年9月30日現在) | 前事業年度<br>(平成23年3月31日現在) |
|------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 【資産の部】     |                              |                              |                         |
| 流動資産       | 17,933,178                   | 16,314,680                   | 18,509,958              |
| 固定資産       | 7,582,276                    | 7,621,260                    | 8,025,250               |
| 資産合計       | 25,515,454                   | 23,935,940                   | 26,535,208              |
| 【負債の部】     |                              |                              |                         |
| 流動負債       | 2,476,275                    | 1,896,237                    | 3,127,453               |
| 固定負債       | 1,069,924                    | 1,008,943                    | 1,033,350               |
| 負債合計       | 3,546,199                    | 2,905,180                    | 4,160,803               |
| 【純資産の部】    |                              |                              |                         |
| 株主資本       | 22,022,646                   | 21,197,214                   | 22,427,894              |
| 評価・換算差額等合計 | △ 53,391                     | △ 166,454                    | △ 53,490                |
| 純資産合計      | 21,969,255                   | 21,030,759                   | 22,374,404              |
| 負債純資産合計    | 25,515,454                   | 23,935,940                   | 26,535,208              |

損益計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

| 科 目                    | 当第2四半期累計期間<br>(平成23年4月1日から<br>平成23年9月30日まで) | 前第2四半期累計期間<br>(平成22年4月1日から<br>平成22年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成22年4月1日から<br>平成23年3月31日まで) |
|------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高                    | 3,731,552                                   | 2,774,762                                   | 18,737,919                             |
| 売上原価                   | 2,453,049                                   | 1,778,815                                   | 13,505,514                             |
| 売上総利益                  | 1,278,502                                   | 995,947                                     | 5,232,404                              |
| 販売費及び一般管理費             | 1,482,192                                   | 1,351,753                                   | 3,327,710                              |
| 営業損失(△)又は営業利益          | △ 203,689                                   | △ 355,806                                   | 1,904,693                              |
| 営業外収益                  | 117,671                                     | 86,448                                      | 178,237                                |
| 営業外費用                  | 2,042                                       | 3,858                                       | 162,314                                |
| 経常損失(△)又は経常利益          | △ 88,060                                    | △ 273,216                                   | 1,920,616                              |
| 特別利益                   | 628                                         | 13,058                                      | 16,075                                 |
| 特別損失                   | 22,441                                      | 7,067                                       | 156,413                                |
| 税引前四半期純損失(△)又は税引前当期純利益 | △ 109,873                                   | △ 267,226                                   | 1,780,278                              |
| 法人税、住民税及び事業税           | 7,500                                       | 7,500                                       | 747,500                                |
| 法人税等調整額                | △ 30,613                                    | △ 85,056                                    | △ 9,037                                |
| 四半期純損失(△)又は当期純利益       | △ 86,760                                    | △ 189,669                                   | 1,041,816                              |

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

| 科 目                        | 当第2四半期累計期間<br>(平成23年4月1日から<br>平成23年9月30日まで) | 前第2四半期累計期間<br>(平成22年4月1日から<br>平成22年9月30日まで) | 前事業年度<br>(平成22年4月1日から<br>平成23年3月31日まで) |
|----------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー       | △ 6,514,074                                 | △ 3,549,781                                 | 3,911,116                              |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー       | △ 385,417                                   | △ 1,647,199                                 | △ 1,799,959                            |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー       | △ 317,263                                   | △ 319,410                                   | △ 320,769                              |
| 現金及び現金同等物に<br>係る換算差額       | △ 64                                        | △ 68                                        | △ 83                                   |
| 現金及び現金同等物の<br>増減額(△は減少)    | △ 7,216,818                                 | △ 5,516,459                                 | 1,790,303                              |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高         | 11,038,927                                  | 9,248,624                                   | 9,248,624                              |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末残高又は期末残高 | 3,822,108                                   | 3,732,164                                   | 11,038,927                             |

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

株式分布状況

